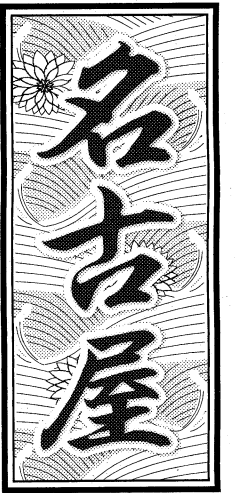


設備導入で残業時間削減

スタッフと客の動線工夫

働き方改革では、生産性向上が重要なテーマの一つ。新たな設備を導入し、人手に頼っていた作業を効率化したり、店舗内でスタッフが働きやすい動線に変更するなど、各社とも知恵を絞っている。



情報は名古屋デスクへ

TEL052(561)5212
FAX052(561)5207

WEBでのお申し込み

中部経済

検索

名古屋 部屋探し

部屋 セレブ

S-POINT
http://www.spoint.jp

生産性向上

回顧 2019 働き方改革

=下=

多いことも背中を押した。バリ取りロボットはもと1台だったが、3台に増設した。バリ取りは人手に頼っていたが、受注する部品の変化により、バリ取りが必要な部品が月間数万個に拡大した。前田社長は

業務負担軽減、人に優しく

■手作業を自動化

自動車の前田鉄工所（中川区）は、加工時に生じる突起（バリ）を取るロボットを新たに導入し、従業員の業務負担を軽減している。働き方改革への意識が高かった。当時、前田鉄工所では、従業員の入れ替わりが

「手作業ではかなりの集中力が必要となり、負担も大きかった」と振り返る。設備増設に伴う費用はかさねたが、2人分の作業を減らせるインパクトがあった。前田社長は「人に優しい会社を目指している。業務負担の重い作業を人間が



ロボットを増設し、業務負担を軽減した前田鉄工所



効率のよい動線に改装したタンドルの店内

同社の2019年5月期の設備投資額は約1億円で、6年前に比べて3倍に膨らんだ。ただ、積極投資によって生産性が向上し、19年1月からは全社一斉の年間所定休日を4日とし、従来に比べ2日増やすことができた。3年ほど前から新卒採用が厳しくなっており、働きやすい環境をアピールし、採用増にもつなげたい考えだ。

■店内改装し改善

美容室のタンドル（中区）は、長時間労働が多い美容師の時短に取り組む中、生産性向上につなげるため、設備投資や新たな人材採用に取り組んでいる。美容師の仕事はヘアケアだけではない。客からの予約電話の対応や受け付け、店内の整理整頓や清掃など専念すべき仕事以外にも忙殺される。電話が入れば客へのサービスを中断し、待たせることもある。パーマやヘアカラーからシャンプーへの座席移動も美容師と客にとって負担になる。こうした課題を解決するため、店内を改装した。椅子やシャンプー台の配置を見直したほか、2階にはヘッドスパ専用ルームを設けるなど、客と美容師の動線を極力減らした。また、美

マネの作品など一堂に

県美術館から コートールド美術館展 3日



関係者らが出席し、テープカットが行われた

美術館に収蔵されるマネルの「フォーリーベルジェ」の「下」を解説。19年12月まで東京で開催された巡回展では35万人を動員した。観

愛知県美術館は1月3日から、名古屋市東区のコートールド美術館のエルンスト・フェーヘリン館を主催する。3月15日まで長が展示の目玉でもある。英国のコートールドエドゥアル・マネの

「このほど報道関係者向けに内覧会を開いた。同時にコートールド美術館のエルンスト・フェーヘリン館を主催する。3月15日まで長が展示の目玉でもある。英国のコートールドエドゥアル・マネの